

# 第1学年 国語科学習指導案

日時 平成17年11月1日(火) 5校時  
 学級 1年3組 男19名 女19名 計38名  
 場所 1年3組教室  
 指導者 教諭 山本 美佳

1 単元名 暮らしを見つめる  
 教材 「魚を育てる森」

2 単元について

(1) 教材観

私たちの社会の中で何かを説明している文章の量は、小説や詩よりもはるかに多く、身の回りにある文章のほとんどが、説明的文章であると言っても過言ではない。つまり、生きていく上では、「この文章は、何を伝えようとしているのか」という要旨を的確に把握することは必要不可欠であり、また、説明したり説得したりする手順についても正確に理解する必要がある。

中学校学習指導要領「国語」第1学年目標(3)には「様々な種類の文章を読み内容を正確に理解する能力を高める」とあり、本教材は、この目標達成のために必要な用件を備えていると考える。

本教材は、襟裳岬のあたりがクロマツの針葉樹林で覆われている理由から、海と森の関係には腐植土のもつ役割が大きく関係していることを説明し、わたしたちが自然のバランスを壊さないようにする必要があることを説くという、序論・本論・結論の構成で成り立っている。中学校学習指導要領「国語」第1学年「C読むこと」の指導事項ウ「文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること」を学習するうえで適切な教材である。

(2) 生徒の実態

説明的文章の導入である1学期実施の教材「海の中の声」「クジラたちの音の世界」では、生徒たちは初めて知るクジラやイルカの生態に興味をもって学習活動を行った。この教材群では、繰り返し出てくる言葉が読み取りを行う上で重要であることを知り、段落毎の要点をまとめたり、意味段落での小見出し作成などの学習活動を通して、文章内容の把握力を高めてきた。

意識調査では、「国語は苦手」という生徒が多く、特に男子の苦手意識が高い。しかし、机間指導等を通して観察すると、苦手意識のある生徒でも、説明的文章についての意欲は文学的文章の学習よりも高いことが分かった。その理由としては、述べたいことが明確に表現されている点が挙げられよう。

本教材では、要旨・要点をつかむことのみならず、一步すすんで、「事実と意見」がどのように展開されているのか(展開の仕方)等についても目を向けて読む力を付けさせる必要がある。

(3) 指導観

本教材導入では環境問題を取り扱った別の文章に触れることを通し、説明的文章と文学的文章とでは読み方が異なることや、筆者の主張を支えるために、必要な材料が説明されていることなどに気付かせたい。この導入によって、今後の学習内容である「接続する語句や前後の話題の関係」、「内容の展開の仕方(説得力のある文章にする方法)」を学ぶ意欲を高めたい。

また、学習活動の中で、「中心の部分と付加的な部分」を明確にすることで、要点や要旨が浮き彫りになってくることを実感させたい。

生徒たちは、ある程度の「どんな話題であるか」「筆者の主張は何か」等については、自分の言葉で説明できるであろうが、「どのような構成で読者に訴えているか」という、ひいては説得する展開の方法につながる「構成」についてはまだ考えられない段階である。そこで、本時では、全体構造を示すワークシートを手がかりにしながら、序論・本論・結論という「構成をつかもう」という学習課題で学習活動を展開し、個人での学習から小グループでの意見の集約などを行い、展開についての理解を深める学習活動を組んでいきたい。

3 単元の目標及び単元の評価計画(5時間扱い 本時4/5)

単元の主目標 構成を的確につかんで、筆者の主張を読み取ることができる。		
単元の観点別目標		
関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
文章の構成に目を向けながら、要旨を理解して読み取ろうとすることができる。	文章の中の事実と意見、文章の構成や展開をとらえ、文脈に即して筆者の考えや文章の要旨をとらえることができる。	文章の中の段落相互の関わりや、文と文との接続関係を意識して述べることができる。

時間	学習内容	評価場面	評価規準	具体の評価規準		
				A	B	努力を要する生徒への支援
1	目標 「説明的文章の読み方の違い」を知り、疑問と答えの部分を指摘して、主張を読み取ることができる。	文章を読んで、自分なりに何について	【関心・意欲・態度】 提起される話題か	話題と筆者の主張	話題と筆者の主	話題は何か、必要な

<p>説明文を読むのに必要なことを見つけよう。</p> <p>身の回りの文章の中で説明文が占める割合を知る。</p> <p>説明文と小説では読み方が違うことを知る。</p> <p>短い説明文を読み、筆者の疑問と答え、主張の部分を見つける。</p> <p>振り返りに、「今日分かったこと」を書く。</p>	<p>て、どのように筆者は書いているのかを読み取る。机間観察、発言、ワークシートの書き込み。</p> <p>ワークシート、発表。</p> <p>どのような言葉から読み取ったかについての発表。</p>	<p>ら、筆者の主張を読み取ることができる。</p> <p>【読むこと】 疑問と答えの部分、筆者の主張を正確に読むことができる。</p> <p>【言語事項】 文章の内容について、文と文の接続関係に着目して読むことができる。</p>	<p>についての確に指摘し、自分の言葉で表現している。</p> <p>疑問と答えの部分、筆者の主張を正確に読み取っている。</p> <p>前後の文章のつながりを指摘し、話題の転換点などを指摘している。</p>	<p>張について指摘している。</p> <p>疑問と答えの部分、筆者の主張を正確に読み分けている。</p> <p>前後の文章のつながりを理解している。</p>	<p>語句を見つけさせる。また、筆者は何を言おうとしているのか、サイドラインを引くなどして明確にさせる。</p> <p>疑問と答えの部分を正確に読み分けることはできるよう、「～だろうか」や「である」などの表現に注目させて、個別支援を行う。</p> <p>前後の文や話題につながりがあるかどうか、一つずつ照応させる。</p>
<p>2 目標 疑問と答えの部分をとらえることができる。</p>					
<p>筆者の主張をつかむために、疑問と答えの部分をさがそう。</p> <p>教材文を読む。</p> <p>疑問があれば必ず答えがあることを確認する。また、疑問の文の中に答えを探すためのヒントがあることを知る。</p> <p>疑問の部分を見つける。</p> <p>答えの部分を見つける。</p> <p>振り返りを行い、今日わかったことを書く。</p>	<p>発表</p> <p>机間観察、教科書への書き込み、サイドラインの引き方、発表など。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 内容について、筆者が何を訴えているのか、関心をもって読むことができる。</p> <p>【読むこと】 疑問と答えの部分を読み取ることができる。</p>	<p>自然や環境に人間が与える影響について読み取り、筆者の主張について簡潔に説明している。</p> <p>疑問と答えの部分、筆者の主張をとらえている。</p>	<p>内容の大枠をとらえ、筆者の主張は何かについて指摘している。</p> <p>疑問と答えのある形式段落を指摘している。</p>	<p>話題は何か、筆者は何を言おうとしているのかについて、指摘できるよう、重要な場所にサイドラインを引かせる。</p> <p>「～だろうか」「～べきであろう」などの表現に注目させ、疑問と答えの部分、筆者の主張を見つけさせる。</p>
<p>3 目標 筆者の主張をとらえ、主張を支える話題の内容を読み取ることができる。</p>					
<p>筆者の主張を読み取るために、各段落の内容を読みとろう。</p> <p>筆者の主張を探す。</p> <p>どのような内容によって主張に辿り着いたかを、ワークシートで確認する。</p> <p>筆者の主張は、最後の方にあることが多いことを知る。</p> <p>ワークシートの中心文のなかにある「その」「これ」「それ」などについて、その内容を探す。</p> <p>指示する語句は形式段落の中の要素を凝縮していること、時には、全段落まで受けていることなどを知る。</p> <p>振り返りに、今日わかったことを書</p>	<p>机間観察、教科書への書き込み。</p> <p>机間観察、教科書への書き込み、発表。</p> <p>話し合いの進行の観察、ワークシート記入状況、発表。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 筆者の主張はなにか、探すことができる。</p> <p>【読むこと】 筆者の主張をとらえ、各形式段落の内容を読み取ることができる。</p> <p>【言語事項】 接続する語句や指示する語句の示す内容について読み取ることができる。</p>	<p>自分の力で読み進め、的確に読み取っている。</p> <p>主張をとらえ、それを支える前後の話題の関係性に着目して読み分け、その理由についても述べている。</p> <p>接続する語句や指示する語句、重要語句に着目して、話題のまとまりを発見し、その理由についても述べている。</p>	<p>主張部分をとらえ、それ以前の話題を指摘している。</p> <p>主張部分を指摘し、それを支える話題について読み取っている。</p> <p>板書や他の人の意見を聞きながら、接続する語句、指示する語句の内容を読み取ることができる。</p>	<p>文章の最後の部分に主張があることを助言し、大切な文にサイドラインを引かせる。</p> <p>主張の前には、どんな話題があったか等の示唆によって話題のまとまりを見つけさせる。</p> <p>指示する語句よりも前に、その内容があることを示唆し、探させる。</p>

	く。					
4 本 時	<p>目標 視点をもとにして、序論・本論・結論の構成をつかむことができる。</p>					
	<p>筆者の主張がどのように展開されているかを探ろう。</p> <p>小学校で「はじめ・なか・おわり」という3つのまとまりに分けたことを確認する。</p> <p>「疑問と答え」をヒントにして、全体を三つに分ける。</p> <p>グループ毎の発表を聞く。</p> <p>再検討を行う。</p> <p>この文章では「疑問と答え」によって話題が区切られ、「序論・本論・結論」という構成で成り立っていることを知る。</p> <p>振り返りに、今日分かったことを書く。</p>	<p>グループ活動の観察</p>	<p>【関心・意欲・態度】 主張を生かすための構成を探りながら読むことができる。</p>	<p>視点をもとにして、話題毎のまとまりを発見し、その理由についても述べている。</p>	<p>視点や他の人の意見を参考に、話題毎のまとまりを見つけている。</p>	<p>形式段落を後ろからおわせ、同じ話題のまとまりを探させる。</p>
	<p>グループ活動の観察、教科書・ワークシートへの書き込み状況、発表。</p> <p>グループ活動の観察、教科書・ワークシートへの書き込み状況、発表。</p>	<p>【読むこと】 構成をつかむことができる。</p> <p>【言語事項】 接続する語句に注目して、序論・本論・結論の構成をつかむことができる。</p>	<p>構成をつかみ、その理由を指摘している。</p> <p>自分の力で接続語を手がかりとした段落相互のつながりを見つけ、構成をつかんでいる。</p>	<p>「疑問」と「答え」の部分を手がかりにして、構成を探し出している。</p> <p>視点や他の人の意見を聞きながら、接続する語句に注目して、構成をつかんでいる。</p>	<p>前後の話題の関係に注目させて、まとまりを作れるよう支援する。</p> <p>「さらに」「そのうえ」「また」などの接続する語句に注目させ、隣り合った段落がつながっているかどうか確認するなど、スモールステップで学習を進めさせる。</p>	
5	<p>目標 他の文章で「筆者の主張」や、おおまかな「構成」を指摘することができる。</p>					
	<p>他の文章でも、筆者の主張と構成を見つけてみよう。</p> <p>いままでの学習を振り返り、説明文の読み方に必要なことを確認する。</p> <p>設問を読み、教材文のどこに注目するのか確認する。</p> <p>一人で取り組む。</p> <p>解答する。</p> <p>解説を聞き、自分の読み取り技術の度合いを知る。</p> <p>振り返りに、今日分かったこと、いまの読み取りの状態を書き込む。</p>	<p>机間観察、ワークシートの記入状況。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 今までの学習を応用して、文章の内容を読み取ることができる。</p> <p>【読むこと】 筆者の主張や構成をつかむことができる。</p> <p>【言語事項】 指示する語句の内容を読み取り、接続する語句に着目して構成をつかむことができる。</p>	<p>主張や構成の仕方を自ら見つけて読み取っている。</p> <p>筆者の主張や構成をつかみ、その理由を指摘している。</p> <p>自分の力で指示語句の内容を読み取り、接続する語句に着目して構成をとらえている。</p>	<p>他の人の意見も参考に、主張や構成を見つけている。</p> <p>今までの方法を採りながら、筆者の主張や構成を探し出している。</p> <p>今までの学習を振り返ったり、提示されるヒントや、他の人の意見を参考に、指示する語句の内容を読み取り、接続する語句に着目して構成をとらえている。</p>	<p>文章を読んで、主張部を探させ、話題についても、前時までの方法を示唆して読み取る手がかりとさせる。</p> <p>前時までの活動を想起させながら、主張を探させる。</p> <p>指示する語句の内容が、形式段落中にあることを教え、内容の読み取りをすすめさせる。</p>

#### 4 本時の指導

##### (1) 研究主題との関わり

###### ア 基礎・基本の重点

各段落の要点のつながりに着目して、構成をとらえる。

###### イ 課題解決を図るための指導過程の工夫

個別学習でつまづいた生徒も、グループ学習の中での意見交流をすることで各段落の要点のつながりをつかむことができるようにするため、グループ学習では「教え合い」と「意見交換」の2つが機能するように組む。

###### ウ 評価を生かした指導の工夫

視点を与えて、各段落にそれぞれ共通する話題を見つけられるよう、各グループの進度に応じた助言を行う。

###### エ 定着を図る工夫

評価問題を作成し、「筆者の主張」や「文章の要旨」、「構成の仕方」などの観点に絞った練習問題の実施によって定着を図る。

(2) 展開

段階	学習過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (3分)	前時想起	1 主張を伝えるための材料の部分の【要点】をまとめたこと、その時に指示する語句や接続する語句に着目したことを確認する。 どのような話題があったか、発表する。 2 小学校の時には、文章を分ける時に「はじめ・なか・終わり」という3つに分けたことを確認する。	1 主張を納得させるために、色々な説明があったことを確認する。 2 「はじめ(話題の提起)」「なか(内容)」「終わり(文章全体のまとめ)」という構成であることを復習する。	
展開 (42分)	課題の設定	<b>筆者の主張がどのように展開されているかを探ろう。</b>		
	課題の追究	3 この文章が内容上、三つに分かれていることを知り、視点をもとにして分ける。 グループで、ヒントをもとにして、三つに分ける。 3 グループで探した答えを全体で確認する。 代表者は、「どのようにして」「どんな風に分けたか」を発表する。 4 再検討する。 意見が分かれた箇所について、どの意見がふさわしいか、グループで再度検討する。 5 再検討した結果を発表する。	2 主張を効果的に読者に伝えるために、色々な話題を提起していることを教え、ヒントを与える。 ヒント 疑問と答えの部分が2つあること。 それぞれの話題はどんなことに注目すること。 3 発表した分け目を板書で示し、各グループの分ける観点についても、書き込む。 4 再検討の際、それぞれの意見の理由をもとにして行うよう助言する。 5 この発表では、意見が変わったところについては、その理由を大切にしたい。	【観察】評価1 (関心・意欲・態度) グループで、ヒントと全体がどう関わっているのかについて考えているか。 支援 具体的に「疑問と答え」がどう関係しているかを探すのだと助言する。 【観察・ワークシート】評価2 (読むこと) グループ内で、「どのようにして」「どんな風に分けたか」について、読みをもとにして話し合っけて検討しているか。 【観察・ワークシート】評価3 (言語事項) 接続する語句に注目して、構成を探しているか。
	課題の解決	6 疑問と答えの部分で話題が挟まれていること、この文章は「序論・本論・結論」という構成で成り立っていることを確認する。 ワークシートに赤ペンで加筆し、内容の流れを確認する。	6 主張を効果的に読者に伝えるためにこのような構成を取っていることを教える。	
終末 (5分)		7 本時の振り返り 教師の評価を聞き、自己評価欄への記入を行う。		【教師からの評価】 【自己評価】